

カーシェア会社は タイムズカープラスを 選べばOK!

数で他社を圧倒
最大手が独走

カーシェア選びで一番大事なのは家や職場、よく使う場所の近くにステーションがあるかどうか。そうするとステーション数、車両数で他を圧倒する「タイムズカープラス」が最有力候補になる。2位以下を大きく引き離す業界最大手だ。価格設定も全体的に安めで、首都圏だけでなく全国に拡大している。迷ったらタイムズカープラスの会員になれば問題なしだ。他の会社も近所にステーションがあれば候補になるが、今のところその勢いがスゴ過ぎる。

大手4社の車両台数

会社名	ステーション数	車両台数
タイムズカープラス	約5500	約9000
オリックスカーシェア	約1200	約1800
カレコカーシェアリングクラブ	776	881
アースカー	243	263

数の面ではタイムズカープラスの独走状態が続いている

「月に数回で遠出もわずか」 そんなあなたは買う必要なし!!

選択の見極めは半日かそれ以上か

タイムズカープラスとニッポンレンタカーを比較すると

項目	タイムズカープラス	ニッポンレンタカー
短時間利用	206円/15分	なし
6時間利用	4020円	5832円
12時間利用	6690円	5832円
距離料金	16円/km(12時間から)	なし
ガソリン代	なし	使用分
保険代	なし	1080円/日

※ニッポンレンタカーの軽自動車を一般料金で利用した場合

レンタカーを借りるなら朝から晩まで300km程度乗らないと損

総移動距離が短いならば、カーシェアリングの方がお得だ。12時間以上の利用、300km程度の長距離ドライブでやっとレンタカーが有利になる。カーシェアリングは走行距離ごとの料金、月額料はかかるものの保険料、ガソリン代がかからないのが大きい。半日程度の利用ならカーシェアリングが俄然賢い選択肢と言える。

長時間、長距離の利用でなければ割高

長距離の移動の場合なら候補になるが、レンタカーはガソリン代がかかることを忘れてはならない



検証 VS

レンタカー

検証 VS

マイカー

“何となく”持っている人は損をする

マイカーは維持費がツライ!



自動車税 約6万円/年

保険 約10万円/年

その他 ガソリン代&駐車場代

年間走行距離8000km以上のドライバーでなければカーシェアが正解

マイカーは何となくも維持費がかかるのが大きい。各種保険や税金、駐車場料金、どれ一つとして大幅にコスト削減できないので、マイカーを持つためには一定費用を払い続ける必要がある。車種や使い方にもよるが年間8000km以上走行しないと自家用車よりカーシェアリングの方が安く済ませられる。

都市部や都市近郊だと駐車代だけで月に1万円



「自家用車」という言葉は甘美な響きがあるが、駐車場をはじめ多額の費用がかかり続けるということを実感しなくてはならない

ハイエースや軽トラなどはないっす

車種の豊富さはレンタカーに劣る

カーシェアリングは外車をそろえていたり、新しい車種をウリするところも多いが基本は乗用車コンパクトカー。引越して使うような大型の車やトラックは借りられないので御注意を。



MONOQLO

「買わずにシェア」が強い選択肢に! タイムズカープラスに登録してOK!

短い距離しか乗らないのならば、マイカーは不要!



MONOQLO

最近カーシェアの看板よく見るけど本当にペリなの?

カーシェアリング carsharing

ここ数年で、利用者は急上昇している!



エコモビリティアドバイザー 馬場健さん

ユーザー数右肩上がり 使える車両も増加の一途

聞いたことはあるけれど、どんなサービスなのかはイマイチわからないカーシェアリング。実はここ数年で急成長を遂げている。「タイムズ」や「三井のリパーク」などのコインパーキングにカーシェアリングの看板が立っている光景ももはや珍しいものではなく、全国各地に広がりを見せている。また利用者にはうれしいことだが、ユーザーが増えるに連れ各社の競争も激化。カーシェアリングのステーション、車両台数は増え続ける一方で、より使いやすい環境が生まれている。マイカー保持者も含め、しっかり把握しておくべき新しい形の自動車の使い方だ。

カーシェア一番のウリは「10分」から使えるコト

大きく分けると3つの特徴に分けられる!

その2 全国のクルマが使える

会員になっている会社の車ならいつでも予約することができる。北海道から沖縄までステーションがあるので旅行や出張のときなどに重宝する。

旅先でサッと使えるのはメリット

その1 超短時間から格安で使える

レンタカーとの最大の違いは、最低利用時間の短さ。10分や15分単位で使った分だけの支払いとなるので短時間から気軽に利用できる。

車で買い物に行きたい時にぴったり

その3 24時間365日使える

お店で借りるのではなく、コインパーキングにステーションがある。そのため常に予約と利用ができる。自分の時間で動けるので便利だ。

緊急の用事に対応できる心強さ

いつでもどこでも短時間から利用できる

まず気になるのはレンタカーとの違いだ。似ているようで仕組みがまるで異なる。最大の違いは短時間利用が可能だということ。レンタカーだと最低利用時間が6時間程度で短時間利用でも一定金額がかかる。カーシェアリングならば10分や15分単位の利用ができるため、短時間しか乗らないならコストを大幅に削減することが可能だ。また全国各地で、24時間365日使えるというのも特徴。日常利用からレジャーまでさまざまな場面に使える。



結局レンタカーとどう違うんですか?

週末ドライブバー なら激得!



マイカー・レンタカーを凌駕する新システム

カーシェアリングについてテレビ、雑誌でチラッと見たという人は多いが、その仕組みはいまひとつ理解されていない。そもそも日本にはレンタカーが文化として根付いているし、一体どう違うのだろうか。カーシェアはここ数年で急成長を遂げている自動車利用システムで、ユーザー人口は増える一方だ。コインパーキングなどにあるステーションの車両を予約して利用するという仕組み。このステーションの数も急増している。月額費を払い、みんなで車をシェアしようという発想で費用にはガソリン代、保険料などの諸費用が含まれている。月に千円程度の固定費は発生するが、1回の利用は激安!これがレンタカーとの大きな違いだ。レンタカーは「6時間まで同料金で数千円」という設定が普通で、短時間の利用には割高感があった。カーシェアは利用した時間の料金と走行距離に応じた金額だけ払えばいいので、短時間利用なら非常にお得なのだ。ステーションが全国各地にあり、いつでも使えることもメリット。自由度が高く、アイデア一つでいろんな使い方ができるのだ。それではレンタカーに対して